

新理事長に及川晃行氏 就任

新任の挨拶

NPO法人一関文化会議所 理事長 及川 晃 行

ふるさとの素晴らしさを再認識し、次代に継承していくために



この度、内田正好理事長の退任により、後任として理事会において選任されました及川晃行と申します。甚だ微力ではありますが誠心誠意この重責を務めて参る所存ですので、前理事長同様よろしくお願いしたいと思います。

さて、当一関文化会議所は、狭義の「学芸」のみならず、「衣食住」をも含む、広い意味での地域文化の保存と育成、そして継承と発展に励まれている皆様の支援・顕彰について、当文化会議所の理念に御賛同いただいております会員の皆様方の御理解と御協力により活動しております。

これまででも多くの事業を展開させていただき、御参加いただいた皆様からは有意義なそして何より楽しい事業であったとの御評価をいただいているところであります。

今年度も「事業委員会」「子ども委員会」「奨励委員会」「総務委員会」による多様な事業を展開して参ります。

また、一関市からの指定管理受託事業として、本年度から市のネーミングライツ事業により「SWS東日本シビックホール一関」の愛称となった一関文化センターの管理・運営について、引き続き5年間受託させていただくこととなりました。これまで以上に市民の皆様から親しまれ、御活用いただける集いの場の提供に努めますとともに皆様の心に響く最高

のステージを提供して参りたいと考えております。

文化は、「人間が心豊かに生き生きと生活するため」に極めて重要であり、人と人との支え合う絆を生み出し、共に生きる地域の基盤を形成するもの」とされ、一人ひとりが文化を大切にする心を持つとともに、文化の価値を追求していくことが求められています。

ふるさとの素晴らしさを再認識し、次代に継承していくためにも、会員の皆様や市民の皆様の御意見や御要望にスタッフ一同耳を傾け、皆様のお声に十分応えられるよう努力して参りますので、倍旧の御理解と御協力をお願いいたします。

新たに選任された役員・理事

(令和8・9年度)

理 事 長		及川 晃行	事業委員会	委 員 長	畠山 篤雄
副 理 事 長		只野 弘三		副委員長	石川喜代子
副 理 事 長		佐藤 賢治		委 員	小野寺 廣
専 務 理 事		熊澤 厚子		委 員	西 幸子
専務理事兼事務局長		佐藤 武生		委 員	藤野 秀一
奨励委員会	委 員 長	阿部 了子	総務委員会	委 員 長	阿部えみ子
	副委員長	及川 和也		副委員長	(兼)佐藤賢治
	委 員	岩渕 香織		委 員	岩渕由美子
	委 員	福井 信夫		委 員	大河原節子
子ども委員会	委 員 長	佐藤 健三	監 事	山田 共子	
	副委員長	伊藤 福子		佐藤 一十	
	委 員	小野寺邦芳	事 務 局	阿部 静香	
	委 員	村上喜久恵			

歴史を学ぶ・今を知る・次代を育む・・事業に位置付け

令和8年度 通常総会

令和8年度 NPO法人一関文化会議所通常総会は、4月23日に一関文化センター小ホールで開催され、令和7年度事業報告、同一般会計収支決算、令和8年度事業計画、同一般会計収支予算、理事の選任、監事の選任の6件の議案を審議し承認しました。

11年6か月にわたり理事長を務めた内田正好氏は、令和7年度をもって退任されました。

議案の内容

議案第1号 令和7年度事業報告

◆一関ふるさと学習院事業

「義経伝説の世界」

- ・講座 3回、現地探訪1回、延べ参加者 219人
- ・講座集録「第九編」の発行

◆顕彰事業

- ・一関文化賞表彰式（令和7年11月20日（木））

会場：一関文化センター中ホール

一関文化賞 原 田 良 一 様

佐 藤 テル子 様

時の太鼓顕彰会 様



令和8年度通常総会

◆子ども文化振興事業

- ・東大生出前科学授業

千厩中3年生 65人、室根中2・3年生 37人

藤沢中3年生 41人

- ・春休み親子のコンサート

音楽の絵本～ズーラシアンブラスと弦うさぎ～
入場者 617人

- ・一関ふるさと子ども探検隊

一関・花泉地域の小学校児童 24人参加

◆研修・視察事業

- ・「米沢に上杉鷹山のまちづくりを学ぶ」

米沢市上杉博物館、上杉神社 61人参加

◆会報事業

- ・会報44号、45号の発行

議案第2号 令和7年度一般会計収支決算報告

議案第3号 令和8年度事業計画

◆主な事業

- ・一関ふるさと学習院

「信仰の文化～人と動物 祈りの世界～」

- ・一関文化賞

- ・一関ふるさと子ども探検隊

- ・東大生出前科学授業

- ・春休み親子のコンサート「音楽の絵本」

- ・研修・視察 「アートによるまちづくり」

～八戸市美術館を訪ねる～

議案第4号 令和8年度一般会計収支予算

議案第5号 理事の選任について

- ◆任期満了に伴い理事21人を選任

議案第6号 監事の選任について

- ◆任期満了に伴い監事2人を選任

令和8年度 研修・視察事業

「アートによるまちづくり」～八戸市美術館を訪ねる～

総務委員会 委員長 阿 部 えみ子

八戸市を訪ね、文化芸術を通じて豊かな市民生活を作り出していくというアートのまちづくりと、都市デザイン戦略として公共施設の整備による中心市街地の再生をめざす中で、令和3年にリニューアルオープンした八戸市美術館の取り組みなどを学びます。

◇開催日：令和8年7月8日（水） 7:00～19:15

◇発着場所：一関ヒロセユードーム駐車場

◇研修場所：八戸市美術館、新渡戸記念館



八戸市美術館

令和8年度 一関ふるさと学習院
信仰の文化 ～人と動物 祈りの世界～

事業委員会 委員長 畠 山 篤 雄

令和8年は、干支で丙午(ひのえうま)にあたります。
 午歳に因み人と動物の関わりを信仰の世界から辿って
 みます。

動物は愛玩や家畜として、また益獣・害獣として存
 在しています。身近な動物たちと人との関わりを信仰
 の世界から学びます。

また、近傍の寺社等を訪問し、信仰の歴史文化を体
 感しながら先人の祈りの世界について学びます。



猫神様（羽養権現社跡 一関市花泉町）

開 講 計 画

回	開 催 日 時 内 容	会 場 講 師
1	6月30日（火） 14:00～16:00 猫絵馬と猫碑の世界 ―猫への願いと供養― 猫は身近な生き物です。愛玩動物として、或いは鼠を捕ることから、養蚕農家などで猫を飼っていました。猫は、神格化され、猫を描いた絵馬が神社に奉納されました。猫の供養碑も見つかっています。猫と人との深いつながりを探ります。	SWS東日本シビックホール一関小ホール 村田町歴史みらい館 館 長 石黒 伸一朗 氏
2	7月17日（金） 14:00～16:00 動物神の博物誌（身近な生き物を中心に） ペットや家畜など人に飼われる生き物が信仰の対象になるのはなぜでしょう。今回は馬と猫を中心に命あるものの神性について、考えてみたいと思います。	SWS東日本シビックホール一関小ホール 岩手大学 客員教授 千葉 信胤 氏
3	9月29日（火） 14:00～16:00 神の使いとしての狼 ―三峯神社の狼信仰― 三峯神社の本社は、埼玉県秩父市に鎮座しています。江戸時代、東北地方にその信仰が入ってきました。火災除・盗難除・害獣除に利益があり、お使いが狼です。岩手の人々とニホンオオカミの愛憎入り交じる構図を考証します。	SWS東日本シビックホール一関小ホール 村田町歴史みらい館 館 長 石黒 伸一朗 氏
4	10月14日（水） 8:00～16:00 【現地探訪】 近傍の寺社等を訪問し、信仰の歴史文化を体感しながら、先人の祈りの世界について学びます。	集合場所：一関ヒロセユードーム （一関市総合体育館） 羽養権現社跡（一関市花泉町） 華足寺（宮城県登米市） ほか

郷土の歴史に興味津々 一関ふるさと子ども探検隊を開催

子ども委員会 委員長 佐藤 健三

3月26日(木)、一関、花泉地域の小学生24人が参加し、平泉世界遺産ガイダンスセンター、中尊寺、一関市博物館などをめぐり、平泉の文化遺産を中心に地域の歴史を学びました。

積極的に質問する子どもたちに、解説員やガイドさんもうれしそうでした。



平泉世界遺産ガイダンスセンターにて



乳幼児を含めて617人が動物さんたちの奏でる音楽とふれあいを楽しみました。

春休み親子のコンサート 音楽の絵本

ズーラシアンブラスと弦うさぎ
3月21日(土) 一関文化センター



★★ 情報をお寄せください ★★

一関文化会議所では、地域において文化・芸術の振興、活力あるまちづくりや人づくり等の分野で地道に顕著に研究・活動を重ねている個人・団体を一関文化賞として顕彰しています。表彰候補の情報をお寄せください。

表彰は4部門

- ① 人づくり ② 芸術文化
- ③ 生活文化 ④ 地域文化

表彰式：11月10日(火) 14:00～

SWS東日本シビックホール一関 中ホール
(どなたでもご覧いただけます)

一関ふるさと学習院 文化講座集録 第九編 を刊行

令和6・7年度の2か年の講座を掲載しています。

令和6年度 「平泉もう一つの世界 比爪と平泉」

・平泉・比爪・鎌倉

—御所の姿を探る—

・もう一つの平泉「比爪」

令和7年度 「義経伝説の世界」

・源義経の実像と伝説の醸成

・源義経北行伝説の世界

・義経はなぜ腰越に留め置かれたのか —鎌倉人の境界認識—

